

# 事業評価シート

番号 0660010 - 001

## 【1.基本情報】

事業名	長良川鶯飼文化のユネスコ無形文化遺産化PR事業		
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	ぎふ魅力づくり推進政策課
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード 3 - 4 - 0 - 0
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体 岐阜市
実施期間	平成28年度～	年度	根拠法令 関連計画※ 長良川鶯飼世界遺産化戦略プログラム

## 【2.事業概要】

事業の目的	長良川鶯飼文化のユネスコ無形文化遺産登録に向け、市内外へのPRに加え、鶯飼文化に関する市民の理解を深め、機運醸成につなげる。	
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>PR用幟旗等を作製し、主に市中心部や主要観光施設にて掲揚する。</li> <li>市民団体による魅力発信や理解促進等に向けたの取り組みの支援を行う。</li> </ul>	
事業の対象	何を	長良川鶯飼文化のユネスコ無形文化遺産登録を目指す取り組み
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民、岐阜市を訪れた人、岐阜市にゆかりのある人
	どのくらい (具体的 数値で)	PR用として、法被(70着)の貸出、幟旗(300本)・横断幕大(1枚)・横断幕小(200枚)の設置
令和元年度 (実施内容)	PR用幟旗等を作製し、市内約400施設等に設置(民間事業者への依頼分含む)。 法被貸出件数は、延べ38件338枚。 市民団体による魅力発信や理解促進等に向けた活動の支援。	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	634	20	634	20	510	15
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	634	20	634	20	510	15

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		978	1,075	944
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	委託料(幟旗作成)	836	889	592
	市民団体への負担金	142	186	352
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		978	1,075	944

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	1,612	1,709	1,454

## 【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他	118	81	90
計(F)	118	81	90

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	1,494	1,628	1,364

**【6.コストバランス】**

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	(主に)岐阜市民	(主に)岐阜市民	(主に)岐阜市民
受益者数	410,000	410,000	410,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	4	4	3

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	法被作成枚数		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	40	30	30
実績値	35	20	25

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	市内の各観光資源の魅力度		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	60.0	60.0	60.0
実績値	55.1	57.2	58.0

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	・1300年以上の歴史を有する長良川鶺鴒文化を保存・継承していくため、魅力の再発見、再認識及び発信と、ユネスコ無形文化遺産登録に向けた取り組みを行っていく必要がある。 ・ユネスコ無形文化遺産登録に向け、申請主体となる市が担うべき事業である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	・幟旗等の掲揚による市内外へのPRに加え、市民団体による魅力発信や理解促進等に向けた取り組みにより、一定の効果が得られている。 ・市内外へのPRや市民の機運醸成に向け、行政と市民団体がそれぞれの役割に応じた取り組みを推進している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	・幟旗等の掲揚による市内外へのPRに加え、市民団体による魅力発信や理解促進等に向けた取り組みにより、一定の効果が得られている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	・ユネスコ無形文化遺産登録に向けた市内外へのPRや市民の機運醸成に資するものであり、適正である。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	・幟旗等の配布先には多数の民間施設も含まれ、掲揚によるPR効果に加え、民間事業者における意識醸成に寄与しているほか、令和元年度からバス広告を掲載するなど、手段の多様化も図っている。また、市民団体の会員数も、設立年度(H28.12)の個人会員15名、団体会員1団体、サポーター3名から、現在(R1.3)の個人会員56名、サポーター9名に増加しており、今後も市民とともに、さらなるPRに取り組んでいく。

# 事業評価シート

番号 0660010 002

## 【1.基本情報】

事業名	旧いとう旅館活用施設整備事業		
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	ぎふ魅力づくり推進政策課
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード 3 - 4 - 0 - 0
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体 岐阜市
実施期間	平成28年度～	年度	根拠法令 関連計画※

## 【2.事業概要】

事業の目的	歴史的・文化的景観を生かし、川原町エリアの面的魅力の向上等、観光振興の推進に資する活用に向け、基本方針を策定する。		
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでに徴取した有識者や市民による意見、また、事業者へのヒアリング結果を踏まえ、活用方法等に関する基本的な考え方となる基本方針の検討を行う。</li> <li>除草や樹木剪定等、適正な施設管理を行う。</li> </ul>		
事業の対象	何を	旧いとう旅館の活用基本方針の検討及び適正な施設管理	
	誰に (対象者・対象者数)	市民及び観光客	
	どのくらい (具体的 数値で)	活用基本方針を検討するとともに、適正な施設管理の実施	
令和元年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設管理(警備業務(通年)、除草業務(年1回)、樹木剪定(年1回))</li> <li>サウンディング型市場調査(民間事業者から広く意見、提案を求める市場調査)に係る説明会参加事業者等から個別にヒアリングを実施(6者)。</li> <li>他都市で古民家再生等に実績のある事業者による現地視察と活用可能性等に関するヒアリングを実施。</li> </ul>		

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	317	10	634	20	680	20
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	317	10	634	20	680	20

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		6,640	287	297
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	委託料	6,499	192	194
	手数料	137	91	99
	電気料	4	4	4
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		6,640	287	297

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	6,957	921	977

## 【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他	118	81	90
計(F)	118	81	90

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	6,839	840	887

**【6.コストバランス】**

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	(主に)岐阜市民	(主に)岐阜市民	(主に)岐阜市民
受益者数	410,000	410,000	410,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	17	2	2

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	整備面積	単位	m <sup>2</sup>
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	500.5	500.5	500.5
実績値	500.5	500.5	500.5

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	-	単位	-
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	-	-	-
実績値	-	-	-

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	ぎふ・長良川の鶺鴒や岐阜城などの本市を代表する観光資源に近接する川原町エリアに立地し、観光振興の推進に資する活用を図るため、基本方針の検討が必要である。  寄付採納した施設であり、市が担うべき事業である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	現状の経費は管理費用のみである。  随時、市民及び民間事業者等の意見を徴取しながら進捗を図っている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	耐震診断の結果、既存施設の活用には多額の費用を要することが想定されるため、今後、より効率的な整備方法を検討する。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	今後、財源を考慮(市費の低減)した検討を図る。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	民間活用を視野に、地元との調整を踏まえ、エリアの魅力創出等、観光振興に資する活用基本方針を検討していく。